

### (3) 就職委員会

#### ① 設置の趣旨（目的）及び組織

##### ア 組織設置の趣旨（目的）

就職委員会は、学生の就職対策に関する事項について調査検討することを目的として、教授会に設置された専門委員会である。

##### イ 組織の構成及び構成員等

就職委員会は、各専攻・コース等から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）、学校教育実践研究センターから選出された教授又は准教授及び特命課長（就職支援担当）の計 19 人により構成されている。

#### ② 運営・活動の状況

##### ア 委員会等の開催状況

令和 3 年度においては、委員会を 5 回（6 月、7 月、11 月、12 月、3 月）開催した（書面審議を含む）。

##### イ 審議された主な事項

主な審議事項は、①令和 3 年度就職研修（学部 3 年次研修を含む）実施計画、②令和 3 年度業務実績に係る自己点検・評価、③令和 4 年度就職指導計画、④令和 4 年度就職支援行事、⑤就職委員会規程の改正等であった。

##### ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

就職ガイダンス、教員採用選考試験対策講座（入門編、基礎編、実力養成編、大学院教員養成強化研修、直前講座、直前実技指導・模擬面接）、学内模擬試験等の就職支援プログラムを計画的に実施した。

また、9 月に就職研修（学部 3 年次生必修）を実施し、特任教授・学長特別補佐の講話、キャリアコーディネーターによる講座、現職教員や教員採用試験合格者の体験談等により、学生の教員就職に向けた意識を高め、採用試験準備の早期の取組を促すとともに、プレイスメントプラザ及び就職支援プログラムの利用促進を図った。

#### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげている。

文部科学省が令和 4 年 1 月 31 日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和 3 年 3 月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は 87.9%で、国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）44 大学・学部中、第 1 位であった。本学が第 1 位となったのは、平成 13（2001）年 3 月卒業者以来 20 年ぶりであるが、9 年連続で 5 位以内を維持する結果となっている。